

認知症対策

見守り体制は？



大槻ゆり子 議員

答

関係機関と連携し、ネットワーク網を広げている

政府は、増え続ける認知症対策として、「新オレンジプラン」認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて」を打ち出した。

原因不明の認知症は脳の病気であり、誰がいつ発症してもおかしくない疾患である。認知症を正しく理解し早期発見・対策が必要である。

理解を深める普及・啓発は推進されているのか。

健康福祉部長

「認知症みんなの笑顔で支えよう」というキャッチフレーズを掲げ、毎月、広報たかしまでも記事を掲載しています。また、「認知症フォーラム」を開催し、サポーター養成講座の講師役であるキャラバンメイトに活動報告をいただく等、啓発に努めています。

健康福祉部長

地域や小中学校、企業、介護保険事業所等で養成講座を24回開催し、7千973名の方にサポーターになって頂いています。最終的には全市民にサポーターになっていただくことを目指し、安心して日常生活を送れる地域社会づくりを進めています。

認知症初期集中支援チームの設置は進んでいるのか。

健康福祉部長

平成29年4月の設置を目指し、現在3名の認知症サポーター医を中心に準備を進めています。

若年性認知症の現状と課題は何か。

健康福祉部長

交流や就労の場について検討を重ねており、NPO法人「元気な仲間」のご協力を得て就労の場や交流の場を開所しました。しかし、ボランティアが

少ない、活動資金の不足、事業主への理解の促進、ご家族への理解を深め就労を促進する等、課題もあります。

認知症の方の見守り体制はどうか。

健康福祉部長

50社余りの市内の企業や商店と協定を結び「高島市見守りネットワーク事業」を実施し、現在、ネットワーク網を広げています。

消費者被害の防止体制はどうか。

健康福祉部長

民生委員児童委員や福祉団体職員等を通じ、被害の疑いのある事案の相談を消費生活相談員が受け、被害の防止と最小の被害に留めるための助言を行っています。

交通事故防止体制はどうか。

健康福祉部長

老人クラブの役員会等で

の事故状況の報告や出前講座等、啓発に力を入れています。

見守りや福祉施策のために総務省が推奨するICT（情報通信技術）の活用を提案する。

健康福祉部長

全国や県内の動向を見据え、ニーズに対応する方向で検討していきます。



認知症フォーラムの様子

その他、認知症カフェの先進事例を紹介しました。

用語解説

●認知症初期集中支援チーム：認知症初期に日常生活のサポートを行う医療職・介護職・認知症サポーター医による専門職チーム。

その他の質問

●子どもの貧困対策